



第10セッション：国際規格

- J. ウイーランド氏 ヴァンリア社技術開発部門  
技術課長
- F. ウイベンガ氏 米国運輸省危険物安全担当オ  
フィス国際規格コーディネー  
ター  
国連輸送専門家委員会米国代表

第11セッション：輸送と危険物

- A. ロバート氏 米国運輸省危険物安全担当准  
行政官

第12セッション：ドラム・ペールの新しい動向

- 近藤 徹氏 JSDA 常務理事、川鉄コン  
テナイナー(株)社長
- ドンカルカテラ氏 カランドー機械製造会社社長

第13セッション：鋼製ドラムー過去及び将来

- ICDM トリラ会長 トリラ鋼製ドラム社社長

【会議の勧告及び決議】

今回の会議で新たに次の勧告を採択し、今後ICDMとして共同推進していくことを別途開催したICDM役員会で確認しました。これは最終日の公式ディナーの席上、トリラ会長から発表されました。

1. ドラム缶火災実験の推進（ユーザー、関係者の啓蒙に努める）
2. SEFA、SSCI及びJSDAの3工業会で、環境問題に関する技術情報交換を強化する。

（注）【ドラム缶火災実験について】（参考）

Fire Tests（火災実験）（SSCI会報 Packaging Vision 1998 fall vol.4.No.2）

（ICDMフロリダ会議セッションの冒頭で、South West Research Instituteに委託して実施したFire Tests（火災実験）結果を発表

（試験内容）

テスト用ドラム缶は、ヘプタンを充填した、2"又は3/4"の開口部を持つ、ナイロンプラグを取り付けた55ガロン鋼製ドラム。36ドラムを4段（144ドラム）積み重ねた上で、ヘプタンに点火。ドラム缶はどれも破裂しなかったし、破裂に近い状態にもならなかった。

これまでナイロンプラグは、溶解ないし溶けてしまい、ドラム缶内の圧力増大により破裂すると思われていた。実験ではナイロンプラグが使用されたが、ポリエチレン及びプリプロピレンプラグでも、圧力調整機能付き用として分類されているものであれば、使用可能である。

（火災実験の目的）

引火性液体を収納するナイロンプラグ装着鋼製ドラムでも、3或いは4ドラム缶を積み重ねて保管することが出来る。但し、消化用の泡と水の出るスプリンクラー設備が必要。

米国の消防法1996コードでは、圧力調節機能メタル容器に対して2段積み（6.5フィート）までしか認めていない。3或いは4ドラム缶を積み重ねる事が出来れば、ユーザー及び保管業者にとり、これは保管効率が50-100%増大することを意味している。

新しい消化用の泡と水の出るスプリンクラー設備を導

入ることが必要になるが保管能力の増加を考慮すれば、多くの場合、使用していない保管スペースのコストを大幅に上回る。

なお、国際会議期間中に、ICDM役員会及び非公式にAOSD正副会長会議等が行われ、下記の通り決定をみております。

【次回国際会議について】

2002年ヨーロッパで開催する。場所、次期は未定。

【第4回AOSD国際会議について】

1998年2月にインド、ムンバイで開催された第3回AOSD「アジア・オセアニア鋼製ドラム製造業者協会」(Association of Asia-Oceanic Steel Drum Manufacturers = 略称AOSD)で合意した通り、第4回AOSD国際会議を2001年4月韓国、慶州で開催することが確認されました。なおこの準備のため来年4月に韓国、釜山でAOSD会長、副会長会議を開催することも合わせて合意しました。

なお、近藤徹ドラム缶工業会常任理事(川鉄コンテナ(株)社長)がフロリダ国際会議の発表で使用したAOSD会員の最新の生産高をご参考に以下に記します。

AOSD会員年間生産高(1998年)

(単位：1000本)

	国名	会員数	ドラム缶 メーカー数	ドラム缶 工場の数	推定年間生産高		
					200ℓ	中小型	ペール缶
工業会のある国	1. インド	41	20	35	5,720	6,110	6,900
	2. 中国	156	156	310	9,685	11,601	5,316
	3. シンガポール	10	3	6	2,280	2,160	3,600
	4. オーストラリア &ニュージーランド	2	2	13	N.A.	N.A.	23
	5. 日本	28	17	25	11,380	1,277	24,079
	小計	237	198	389	29,065	21,148	62,895
連絡会のある国	1. 韓国		8	10	3,960	1,800	N.A.
工業会のない国	1. 香港		2	2	650	30	1,000
	2. インドネシア		8	8	2,857	-	-
	3. マレーシア		7	7	2,500	N.A.	N.A.
	4. フィリピン		6	6	600	-	-
	5. 台湾		3	5	3,213	880	-
	6. タイ		5	6	1,600	50	-
	7. スリランカ		2	N.A.	200	N.A.	N.A.
小計		33	34	11,620	960	1,000	
合計	5工業会13か国		239	433	44,645	23,908	63,895

DATA  
FILE

平成11年度上期(4～9月)ドラム缶・缶種別・用途別出荷本数

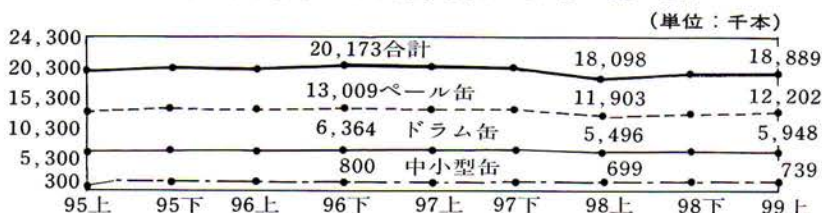
〔前期比 106.5%、前年同期比 104.4%となる〕

(単位：千本)

用途 缶種	石油	化学	塗料	食料品	その他	合計	前年同期比	
200 Q 缶	960	4,450	306	70	162	5,948	108.2%	
ペール	6,186	5,301	373	—	342	12,202	102.5	
100 Q 缶	6	98	微		微	104	101.6	
50 Q 缶		167			16	183	115.1	
ス缶型	5	3				8	100.9	
その他容量缶	1	274	微	微	8	283	113.5	
200 Q	亜鉛鉄板缶		52	1	微	3	56	88.4
	ステンレス缶		9		微		9	176.0
	小計		61	1		3	65	95.0
中小型缶	亜鉛鉄板缶		91	微		1	92	90.8
	ステンレス缶		4		微		4	37.4
	小計		95	微		1	96	86.1
合計	7,158	10,449	680	70	532	18,889	104.4	
前年同期比	103.3	105.7	99.7	111.1	98.9	104.4	—	
構成比	19.5	71.8	4.8	1.0	2.9	100	—	

(注) 構成比は、出荷トン数の構成比。

## ドラム缶半期毎の出荷実績の推移(参考)

『50周年史』発刊へ  
向けてスタート

2002年(平成14年)9月に創立50周年を迎えるドラム缶工業会では、これを機に50周年史の発行を計画し、去る7月1日に「ドラム缶工業会50周年史編纂委員会」を設置いたしました。委員会メンバーは下記のとおりです。

委員長：中川義幸(日鐵ドラム(株)専務取締役)

委員：柴野正裕((株)前田製作所)、  
郷邦道(日鐵ドラム(株))、  
藤野泰弘(ドラム缶工業会事務局長)

編集協力：化学工業日報社

発行は3年先ですが、編纂委員と編集スタッフらは、早くも基礎資料の収集のために会員各社の取材を開始いたしました。また各委員は分担して50周年史のもととなる年表の作成に取り組んでいます。会員の皆様も、この50年間のドラム缶に関する情報や資料、さらに製品や設備・機器などをお持ちでしたら、編纂委員会までご連絡ください。

編纂の様子は、今後もこの会報で報告してまいります。

「ドラム缶工業会50周年史」にどうぞご期待ください。

(編纂委員会連絡先：TEL.03-3669-5141)

## ドラム缶の国際

岩船港(新潟県)魚まつりにて  
(写真提供：国兼義徳氏)



## コ ラ ム

高価で絢爛な花といえば洋ランか！蝶の舞う姿に似たコショウラン、華麗で清楚なカトレア、甘い香りのセロジネなど種類も多く年々愛好者、栽培家が増加している様である。毎年、春先にドーム球場等で世界ラン

展などが開催されている。その会場に足を運ぶと仄かに甘い花の香りが漂い、鮮やかな色彩の花が会場一面に飾られ、言うに言えない美しさ、それがランの魅力である。物の本によるとランの原種(自然に自生しているもの)は3,000種とも4,000種とも言われ東南アジア、南アメリカ、南アフリカなどに自生している。近

年品種改良により、より美しい花が誕生している。小生も洋ランの魅力に魅せられ、栽培を始めて10年になる。数多くの株を枯らした経験から育て方のコツを一言。植え込み材料は水苔で(失敗が少ない)水のやり過ぎ根腐れのもと。水やりを控えて根を育てるのが一番か！

(山口恵造記)

# トップの素顔

地の利・山紫水明を趣味に



山陽ドラム缶工業株式会社  
代表取締役社長 南 徹さん

平成7年に山陽ドラム缶工業（株）の社長に就任されて5年目を迎える南社長に、同社のある岡山県の魅力と、ウィンタースポーツが好きになった少年時代の思い出を語っていただきました。

—東京のお生まれとか？

★はい、しかし小学校に入るときは静岡でしたし、疎開で宮城県・仙台に行つてからは中学を卒業するまでおりましたので、故郷という仙台が印象深いですね。

—現在ご趣味のウィンタースポーツもその頃から……。

★凍った田圃でのスケートや山でのスキーなど。中でも「そり」が思い出に残っています。小高い丘から滑り降りる何10mものコースを自分たちで作って、もちろん「そり」も手作り、板の底に竹を張ったり敷居のレールを付けたり、とにかくスピードを競うのです。

—スキーは今でも1シーズンに何回も行かれるようですね。

★地の利を活かして鳥取県の大山には2回、その他長野・新潟にも数回。

—倉敷に転勤されてからは、他にも趣味が増えたようですが。

★何といつても山紫水明の地ですから、ちよつと郊外に出ると素晴らしい景色が広がるわ

けです。そこで「倉敷徒歩の会」に参加してウォーキングを楽しんでいます。この会は大変歴史が深く、今年40周年を迎える、日本でも草分け的存在です。山里、田畑の間や川沿いをそよ風に吹かれながら歩くだけでも気持ちのいいものです。

—そうした風景をカメラにおさめるのもお好きとか。

★写真は昔から趣味でしたが、岡山市在住の緑川洋一氏が主催する写真教室に通っています。この方は日本の写真会の重鎮ともいべき人なのですが、月に一度、40~50人の生徒の作品（一人5枚のスライドが宿題）を見て、評価をしてくださるのです。私は山が好きなのですが、いつも先生からは「山屋の写真は稜線ばかりで記念写真のようだ」とお叱りを受けています。仕事だけに頭を使えば良のを、こちらの方でも毎回頭を痛めています。（笑い）

—最後にモットーを。

★とにかく「誠実」でありたい、ということです。

昨年8月、初代社長（現会長）の後を受け2代目となられた関根社長、「趣味は仕事というつもりはないですが、それほど無趣味で…」とおっしゃる社長の素顔にどこまで迫れますか。

—中学時代はスポーツでかなりご活躍されたとか？

★中学の頃は陸上と野球をやっていましたが、陸上の400mでは県大会でも上位に入っていました。しかしその代わり勉強の方はだめでしたね。

—どちらかというと硬派ですか？

★そう、かなり荒っぽい方で、よく親が学校に呼び出されて、お小言を頂戴しました。これは高校時代まで続きました。（笑い）

—いろいろな職業を経験されたとのことですが…。

★1961年に東京急行から転身し入社。きっかけは新聞広告でした。

—入社後もさまざまな職場を経験されたとか？

★そうですね、製造から始まって工場管理から営業まで。中でも20年以上担当した営業の体質が抜けなくて、今も担当者と一緒にお客様訪問をしております。

—営業ですと、お付き合いもいろいろあるのでしょね。ゴルフやお酒の席など、大変ですね。

★いえ、ゴルフはお付き合い程度ですが、お酒は私自身のストレス解消法なのです。ですからお客様と飲んでいても本当に楽しいですよ。

—辛党というわけですね。さて、休日は何をされていますか？

★庭の草取りや女房と買物に行く程度です。日曜Eくらいしか休めないもので、うちでゆっくりしたい。また本はサスペンスものが好きなので、トム・クランシーやレイヴン・トーマス、ジャスティン・スコットなどのものを好んで読んでいます。

—最後にモットーなど。

★当社の社是に「誠意・熱意」とありますが、



新邦工業株式会社  
代表取締役社長 関根利三郎さん

昔は硬派、今は辛党

私も個人的には「無私大望」「至誠一貫」などの言葉が好きです。今後もお客様第一に、社員にも満足できる会社を目指したいと思っています。

## 会 員

秋田ドラム工業株 川鉄コンテナ一株 協和容器株  
鋼管ドラム株 斎藤ドラム缶工業株 山陽ドラム缶工業株  
新邦工業株 ダイカン株 大同鉄器株 株東京ドラム罐製作所  
東邦シートフレーム株 株長尾製缶所 日鐵ドラム株  
株前田製作所 森島金属工業株 株山本工作所 株ユニコン  
《賛助会員》

エノモト工業株 三恵マツオ株 丹南工業株 株大和鐵工所  
三喜プレス工業株 株城内製作所 東邦工板株 株水上工作所

## ドラム缶工業会

東京都中央区日本橋茅場町3-2-10  
(鉄鋼会館3階)  
TEL 03-3669-5141 FAX 03-3669-2969

ひびき No.25(平成11年11月4日発行)

発行人 ドラム缶工業会  
事務局長 藤野 泰 弘

本誌は再生紙を使用しています。